

# 「よ」の字に歴史あり



明治10年（1877年）、紺屋町に第一国立銀行盛岡支店が開業（※岩手では明治7年（1874年）の小野組破産以来、為替方を失っていたことから、政府が国庫金と公金を取り扱わせるために開業）、内丸の県庁との連絡を図るために架けられたため、当初は「銀行橋」と呼ばれた。後に水害で流失し、明治22年（1889年）に架け替えられた際、よ組の番屋に近いことから「よの字橋」と名付けられた。大正14年（1925年）には、盛岡初の鉄筋コンクリートの橋げたが使用された。現在の橋が架設されたのは昭和44年（1969年）。全長54・7m。

（もりけん本スーパードットコム ver.2より）

